

あさひの日だまり



令和5年 9月15日 (金)

NO.20

辰野町立辰野東小学校 文責 片桐

～なかよし旬間が始まりました～

楽しい学校をみんなで創りたいです

なかよし旬間が始まりました。予定されていることは、縦割りで行われるなかよし清掃。なかよしカレー会などです。なかよしカレー会の計画を6年生が一生懸命に進めてくれています。「自分たちで作るなかよしカレー会」にしたいと頑張ってくれていることが嬉しいです。私にとって初めてのカレー会です。どんな楽しい会になるのか今からドキドキしています。22日には、校長講話の機会をとってもらいました。どんなお話をしたらみんなの心に響くかなと思案しました。こんなお話で大丈夫かなと不安でしたが、頑張ってみようと思っています。(講話が金曜日でこの原稿を木曜日に書いているので子どもたちの反応はまだわかりません) よろしければお読みください。

今は「なかよし旬間」の真っ最中です。ここにいる皆さんの中に、友だちに嫌なことを言われたり嫌なことをされて悲しい思いをしている人がいるとしたら、先生もとても悲しいです。すぐに、その悲しさをなくしてあげたいと心から思います。

ここにいる皆さんの中に、友だちに嫌なことを言ったり嫌なことをしてしまっている人がいるとしたら、先生はとても悲しいです。お家の人が、自分家の子どもがお友だちを悲しい思いにさせてしまっていると知ったらどう思うでしょう。先生と同じようにとても悲しむと思います。

先生は、ここにいる一人残らず全員が、学校で友だちから悲しい思いをさせられたり友だちに悲しい思いをさせたりしないで欲しいと強く強く願っています。そして、友だちから温かい言葉をかけられて「友だちっていいな」って思えることがたくさんあるように心から願っています。

実は、先生、この頃とても嬉しいことがありました。そのお話をさせてもらってもいいですか？

実は先生はまたあることに挑戦したんです。この写真を見て下さい。



校長先生は、何をしているところですか？

校長先生は稲刈りを手で、この手で一人だけでやってみようと挑戦しました。普通は、写真みたいな大きな機械であつという間に刈り取っていきます。機械だったらだいたい15分くらいで終わるところを、校長先生は、2日間、朝から晩までかけて刈り取りました。写真の手を見て下さい。真っ黒です。写真ではよく見えませんが、手の皮があちこちむけてしまっています。

朝5時から刈り始めました。意気込んで「よしやってやる！」と思って始めました。頑張って頑張って刈りました。でも全然前へ進まないんです。本当に進まないんです。何度も何度も立ち上がって刈り終わった場所とこれから刈らなくちゃいけないところを見比べました。正直に言いますね、「今回の挑戦は絶対失敗だ！」と思いました。腰が痛くて痛くて10分おきくらいで休まなくちゃなくなりました。皮がむけて手が痛くてどうなるか心配になっちゃったんです。午後になりました。近所の友だちが様子を見に田んぼまで来てくれました。「すごいじゃん。手で刈るの大変だろ？手伝ってあげるよ！」と言ってくれました。本当にうれしくなりました。でも、その友だちはリンゴをた

くさん作って出荷しています。今が一番忙しい時なんです。それなのに校長先生の手伝いをするよってくれたんです。「ありがとう。実は一人で全部やってみよう」と挑戦してるんだよ。もう少し頑張ってみるよ」と答えました。その友だちは「そうか頑張ってた、つらくなったらいつでも声をかけてな」と言って帰りました。心配してわざわざ田んぼまで来て応援してくれている友だちがいるのに、ここであきらめるわけにはいかない。そう思いました。「もう少しだけ一人で頑張ってみよう」と決心して頑張りました。



その日の夜の出来事です。携帯が夜遅くになりました。近所のお年寄りからの電話でした。「おい、今日頑張ってたじゃねえか。すげえなあ、明日俺が手伝ってやるは」という電話でした。校長先生は本当にうれしくなりました。この方は遠くからわたしのことを見ていてくれたんです。そして明日もすごい暑さになりそうなのに、自分の体のことより校長先生のことを考えて、助けてあげようとわざわざ電話をくれたんです。次の朝校長先生はその人のところまで行きました。「昨日は本当にありがとうございました。実は手刈りに一人で挑戦しているんです。もう少し頑張ります」

そういうと「あーそうかい。頑張れな。いつでも声をかけてくれ手伝うで」と言ってくれました。

2日目の昼過ぎ、知らない人が田んぼの前に車を停めました。「いったい誰だろう？」と不思議に思いました。「暑いでしょ、ジュースをどうぞ。熱中症に気を付けて頑張ってくださいね」とジュースをくれたんです。涙が出るほどうれしかったです。そこからはもう何も考えずにひたすら手を動かしました。優しい言葉はエネルギーになります。温かな言葉は、腰の痛みや手の痛みをちょっと

とだけ減らしてくれます。体の中に「頑張ろう」という気持ち自然とわき出てくるんです。

2日目の夕方です。見て下さい。やり切りました。皆さん、校長先生は、校長先生を応援してくれた人が周りにいたから頑張れました。周りに応援してくれている人がいるってことはすごいことです。温かい言葉ってすごいです。先生本当に思っているんです。もし誰も先生に声をかけてくれなくて、ずっと一人だけだったら絶対途中で投げ出していたって。

皆さんの周りにはお友だちがいますね。友だちが困っているときは「いっしょにやろう」って、優しい言葉をかけてあげられるのが友だちです。友だちが頑張っているときは「すごいね」って、応援してあげられるのが友だちです。友だちが悲しそうなきには「大丈夫だよ、私がそばにいるから」って声をかけてあげられるのが友だちです。

周りの友だちからこんな声をかけてもらえたら嬉しいですよ。幸せですよ。私の周りには優しい友だちがいてくれるから幸せだなんてここにみんなが思えたらとっても素敵だって思いませんか。

そんな素敵な学校をみんなで創っていきたくって校長先生は思ってるんです。それには皆さんの力が必要です。力を貸してもらえませんか。お願いします。

～沢底で通学合宿～

15人の子どもたちが参加しています

例年行われていた沢底の通学合宿が復活しました。3泊4日の行事です。どんな様子なのかなと興味津々で訪ねてみました。沢底の有賀茂人さんを中心に、地区の皆様と豊南短大の学生さんのお力で実現している行事です。私が訪ねたのはちょうど夕ご飯の時でした。「昨日は眠れた?」「うん全然眠られなかった」などと大騒ぎをしながら本当に楽しそうに羨ましくなりました。でも、自分で食器はちゃんと自分で洗っていて、自分のことを自分でするいい経験をしているなと思いました。こんな楽しい時間を作って下さっている皆々様に心から感謝です。

